

善光寺霊園ニユース

「横浜やすらぎの郷霊園」とともに、今年五月に「港南ひばりの森霊園」が開園して、善光寺にご縁のある霊園が二つになりました。設備を拡充した「横浜やすらぎの郷霊園」の今と「港南ひばりの森霊園」の開園式の模様をご紹介します。

横浜やすらぎの郷霊園

やすらぎ観音・やすらぎ地藏を安置



「やすらぎの郷霊園」は善光寺開創三十周年記念事業の一環として平成十一年に開園した霊園です。「皆様に心から喜んで、安心してお墓参りをしてもらえる霊園を作りたい」と先代の方丈が





三十年待ち望んだご縁による善光寺の霊園です。その遺志を受け継ぎ、公園墓地としては珍しく経営母体のお寺が直接に管理・運営をしており、お互いに気軽に声を掛けあえる環境の中、気持ちよくお参りをしていただいております。

「宗派や国籍、年齢にとらわれずにお互いが理解しあい、調和できれば、きっと平和な世界、地球上の全ての国、人々に幸せをもたらすことが出来るはず」と常々話しておられた先代方丈の遺志を継いだかたちでこの度、ドイツ普門寺様に寄贈させていただいた二体の石仏と同じ仏様を霊園内にご安置させていただきました。

お互いが相手のことを思いやり調和する世界を「やすらぎの郷」として今後も守り続けて行きたいと願って止みません。

二体のお仏像はそれぞれ親しみを込めて「やすらぎ観音」、「やすらぎ地藏」と名前をお付けして皆様にお参りしていただいております。



永代供養墓 「善光寺やすらぎの碑」建立

現在では、お子様がいらっしやらない方や継承でお悩みの方が多い中、善光寺でも色々なご相談を承ってまいりました。その様な方々に対して安心していただくために永代供養墓を建立いたしました。



通常のお墓と同様に自然溢れる屋外でのお墓参り。お花やお線香の煙が絶えることない大きなモニュメントです。既に二百名を超える方々にお求めいただき、お遺骨をお納めする地下の納骨室には一葉観音像をお祀りし、ご供養させていただきます。

富士山を見渡せる高台など 新区画を開放

大変に好評につき、墓処の空き区画が少なくなったため、この度昨年十一月に墓地区画数の変更許可を取り、今年より新区画を開放させていただきます。

駐車場からすぐの平坦な区域と、富士山を見

渡す高台の区域に空きがございます。
お近くの方や墓地をお探しの方はご相談ください。

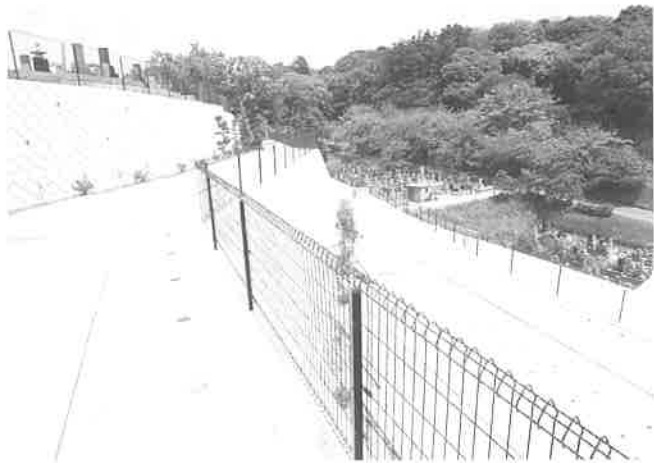


港南ひばりの森霊園

大圓和尚宿願の霊園が完成

「善光寺に隣接し壇信徒のみなさまが気軽に
お参りできる霊園をつくりたい」。亡くなった先
代方丈大圓老師の夢の一つでした。そして、こ
の計画は先代方丈のご生前から着々と進められ
ついに志なかば完成を待たずして遷化されて
しまいました。そして、その遺志を継いだ博志
住職、また日野石材工業協同組合の皆様、地域
の皆様方のご協力をいただき「港南ひばりの森
霊園」として開園する運びとなりました。

平成十八年五月一日、善光寺釈迦殿では「港
南ひばりの森霊園」の開園式が執り行われまし
た。善光寺総代、熊谷豊太郎氏の開式の辞に始
まり、続いて、本寺の光真寺、黒田俊雄老師の
導師で法要がすすめられました。般若心経の読



経に続き、霊園完成を記念し、仏前に置かれた
慶祝の達磨に黒田老師の手で目が入られました
た。



導師をおつとめいただいた黒田俊雄老師

引き続き、これまでご尽力、お力添えをいただいた方々、有限会社八千代商事代表取締役・原憲一郎様、漆原土木株式会社代表取締役・漆原是納様、有限会社三陽技建代表取締役・漆原勝史様、日野石材工業協同組合理事長・鳥居秀行様に博志住職より感謝状が贈呈されました。

ご導師をおつとめいただいた黒田俊雄老師、横浜市会議員・田野井一雄様、神奈川石材業連合会会長・花塚金次郎様、各位からのご祝辞にお応えして、博志住職と鳥居秀行様が謝意を述べ、善光寺事務局長富永豊重氏の閉式の辞で式典を結びました。

折から、春らしいみどりの風はこちよく、晴れ渡った空のもと、参列者は徒歩で「港南ひばりの森霊園」に向かい開園式を行いました。

「港南ひばりの森霊園」は善光寺から徒歩約五分、総区画数約四〇〇区画、一㎡、一・二㎡を中心に〇・四八㎡から二・二㎡まで多彩な区

画をご用意しています。詳しくは日野石材工業
協同組合までお問い合わせください。〔問い合
わせ 電話〇四五(八四二)七九三八〕



感謝状を受ける原憲一郎氏



花塚金次郎氏



田野井一雄氏

